

留学報告レポート

東北工業大学 環境エネルギー学科 3年 1616202 伊藤幸大

私にとって今回の留学は自分の人生において非常に良い経験になったと考えています。私は今まで海外に対する興味はありつつも中々チャンスもなく、またあったとしても踏み出せずにいました。そういったこともあり、はじめ大学から行く人は自分ひとりだけと知ったときは正直かなりの不安を覚えました。しかし今振り返ってみると、一人で行ったからこそ得た物が多く、結果的に良かったと思っています。このレポートではそのような今回の留学で学んだことや感じたことを

- ① 留学目的の達成度
 - ② 留学、国際理解への意欲に関する留学前後の意識の変化
 - ③ 今後の長期留学の意欲
- の3つに分けてまとめていきたいと思います。

①留学目的の達成度

私はタイの文化に積極的に触れるという目的を設定しました。具体的に言うと、日本にないことが体験出来る時は進んで参加したり、現地の人達に自分からコミュニケーションを取るといった事をしようと決めて出発しました。達成度としては100%だと思っています。なぜかという、一日のプログラムが終わった後は自由時間として与えられたのですが、私は2週間その自由時間で自分の足でバンコクの街を歩き、多くの人と会話することができたからです。バンコクではナイトマーケットと呼ばれる大規模な市場が夜に開かれていて、幅広いジャンルの雑貨や服といったものが売っているのですが、そこでは値切ることを前提にした商売が展開されているため自分から積極的に交渉をする必要がありました。そこで私は自分の持てる英語力を駆使しながら100バーツ値切ることに成功しました。また、ナイトマーケットでは食用の虫といったように日本にはないものが本当に多く売っていました。泰日工業大学の先生に貴重な体験だから食べてみたい人はいるかと聞かれ、自分はすぐに手をあげて口にしてみました。泰日工業大学の先生(Mr. Pom)も今回のプログラムで日本の学生たちには多くのカルチャーショックを受けてほしいという思いを持っていて、様々な場面で学生たちにチャンスを与えてくださいました。私はそのチャンスを学生の中で一番活かすことができたと自負しています。しかし新しい課題も見つかりました。それはやはり英語力だと思います。2週間ほぼ英語の中で生活したことにより自分の思っていることを伝える事はある程度できたのですが、聞き取りの能力に課題があると分かりました。海外でこの課題を見つけられたことは日本に帰ってからの英語学習へかなりのモチベーションにつながると思いました。聞き取り能力の向上に力を入れた英語学習に取り組んでいきたいと思っています。

②留学、学習、国際理解への意欲に関する留学前後の意識の変化

私ははじめにも書いたように海外に興味があり、個人的に YouTube など海外の文化を発信している動画などをよく見てきました。しかしあくまでもそれは他の人の価値観や考え方を元に行っているため、より国際理解を深めるためには実体験が必要だと思っていました。私は今回留学に行ってその考えは正しかったと思いました。動画や記事や写真も貴重な情報源であるのは間違いないのですが、実際行ってみると動画じゃ分からないその場所の空気感や人々の様子を知ることができとても貴重な体験になりました。例えばタイのまちを歩いているとボロボロの服を着た子どもやお婆さんが通行人に対してお金を求めていたり、道路の端で一日中半裸で寝ている人が居て、そういった数々の日本にはない光景を目の当たりにしてかなり衝撃を受けました。その国の良いところだけを見るのではなく、その背景にあるものを考えることや、そういったことから目を背けず現実として受け入れることが国際理解をする上で必要なことであると感じました。今回の留学を経て、今までより視野が広がりまたどこかの国に行くとしたら文化を学ぶだけでなく、その国のことについて深くまで理解しようという意識が強くなりました。

③今後の長期留学の意欲等を含めて

私は今回タイに行き、日本にはないことを沢山経験することができて本当に良かったと思います。大学生のうちこのような経験ができたことはとても幸せなことだと考えています。中々踏み出せずにいた海外への留学でしたが、1人で行ったということがかなり自分の中で自信になりました。この経験をより実らせるためには今回のタイの留学で良かった事、見直すべき所を踏まえる必要があります。良かった所としては積極的にその国の文化に触れる行動力が挙げられると思います。見直すべき所としては自分の英語力をより実践的にする必要があることだと思いました。留学はその国の事を知ることができると共に新しい自分を見つけることの出来る非常に価値の有るものだと考えます。自分の成長のためにも又機会があれば是非チャレンジしたいと考えています。